

進め！ 昔の暮らし調査隊

～新潟の冬の道具と暮らし～

3年社会 1月～2月 30Q <10時間>

1 単元のねらい

- 昔の暖房器具やそれらを使っていたころのくらしの様子を調べ、昔の人々の生活の知恵と工夫や地域の人々の暮らしの変化が分かり、それらが今の自分たちの生活につながっている考えることができる。 [(5)ア]
- (5) 地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。
 - ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

2 目指す姿

- 昔の人々の知恵や工夫があったから、今も同じように暖かく過ごすための道具があり、道具がよりよくなったから、私たちの生活が便利で暖かくなったんだと、考える姿。

3 単元の計画

	【学習活動】	【働き掛け】	Q
一 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寒い冬の日の自分の生活の様子を発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・寒いときはヒーターにあたる。 ・外に出るときは暖かい格好をする。 ・使い捨てカイロをもって出掛ける。 ・湯たんぽを使って寝ている。 ○ 石油ファンヒーターがなかったころ(45年前)の暖房器具と暮らしについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・今よりも寒かっただろうな。 ・電気ストーブって暖まるまでに時間がかかるな。 ・他にはどんな道具を使っていたのだろうか。 <p>【単元を貫く学習課題】 ◎ 昔はどんな道具を使って暖かく過ごそうとしていたのか調べよう ・お父さんお母さんに聞いて調べてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟市歴史博物館に行き、昭和40年代の暖房器具と暮らしの様子について調べる。 ○ 45年前の暖房器具と暮らしの様子について分かったことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・今でも使われている道具がある。 <p>○ 今のように便利で暖かくはないけれど、今と同じような電気や灯油を使った道具を使って暖まっていたんだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 昨年2月の新潟市の平均気温を提示し、冬を暖かく過ごすための方法を問う。 ◆ 現在の暖房器具(道具)や暮らしの様子が分かる写真を提示する。 ※暖房器具(道具)と使い方、効果をまとめる。 ◆ 今の暖房器具の暖かさを体験させる。 ◆ 1968年(45年前)の2月の新潟市の平均気温を提示し、この頃はまだ、石油ファンヒーターがなかったことを伝え、電気ストーブを提示する。 ◆ 電気ストーブの暖かさを体験させる。 ※石油ファンヒーター/使い捨てカイロの普及(1978年/昭和53年～) ◆ お父さんお母さんが子どもの頃、どんな道具を使って暖まっていたか。また、その頃の冬の生活の様子について家庭で調べさせる。 ◆ 新潟市歴史博物館に行き、45年前の暖房器具を観察したり、暮らしの様子について話を聞いたりさせる。 ◆ 45年前の冬の道具と暮らしの様子について分かったことを問う。 ※暖房器具(道具)と使い方、効果をまとめる。 (電気ストーブ/石油ストーブ/電気行火) ※電気懐炉、使い捨てカイロ、白金懐炉については、学校で実際に観察体験させる。 	15 Q 5 時間
二 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今から71年前には、まだ電気を使った暖房器具を使っていなかったという事実から学習問題を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・今よりももっと寒かったんだ。 ・こたつや行火はなかったのかな。 <p>【学習問題】 今よりも寒かったのに、71年前はこたつや行火はなかったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題についての考えを交流し、仮説を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・こたつや行火はあったと思う。 →火を使っていたんじゃないかな。 <p>【既習事項】 生活者としての自分の認識や経験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭を使っていたんじゃないかな。 ・炭を入れていたんだと思う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 仮説を確かめるために必要な情報と調べる方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・炭を使ったこたつや行火があったこ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2012年/1968年(45年前)/1942年(71年前)の2月の平均気温グラフを提示する。 ◆ 71年前には、まだ電気を使った暖房器具がなかったという事実(歴史博物館の人の話：VTR)を提示する。 ◆ 驚きや疑問からどのような学習問題がつけられそうか問う。 【働き掛け1】 ◆ 学習問題に対する予想を発表させ、問題解決の手掛かりとなる観点を樹形図で分類・整理して板書する。 【働き掛け2】 ◆ 火鉢とこたつの熱源の写真を提示し、火鉢の内容物とこたつの熱源を分析させた後、学習問題についての考えを問う。 【働き掛け3】 ◆ どのようなことが分ければ仮説を確かめられそうか問う、必要な情報を集める方法を考えさせる。 【働き掛け4】 	9 Q 3 時間

二 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔の人たちも今と同じように、こたつや行火を使って、暖かく過ごそうとしていたんだ。炭を使っていたなんて、昔の人たちはすごいな。 ○ 今から71年前には、まだ石油ストーブを使っていなかったという事実から、学習問題を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・今よりも寒いのに、どうしていたのかな。どんな道具があったのかな。 <p>【学習問題】 石油ストーブがないのに、71年前の人たちはどうやって暖まっていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題についての考えを交流し、仮説を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・こたつや行火と同じように、炭を使っていたと思う。 ・炭と言えば、火鉢を使っていたんじゃないかな。 <p>【既習事項】 生活者としての自分の認識や経験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーブのように手を暖められるから、火鉢を使っていたと思う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 仮説を確かめるために必要な情報と調べる方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ストーブの代わりに火鉢を使っていたことが分かればいい。 ・歴史博物館の人に聞いてみる。 ○ ゲストティーチャーに火鉢の使い方や工夫、効果や暮らしの様子を聞いて調べる。 ○ 学習のまとめとして、分かったことや考えたこと、思ったことを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ こたつと行火を提示し、ゲストティーチャーへの使い方や工夫、効果を聞いて調べさせる。 【働き掛け5】 ◆ 学習のまとめとして、分かったことや考えたこと、思ったことを説明させる。 【働き掛け6】 ◆ 2012年/1968年(45年前)/1942年(71年前)の2月の平均気温グラフと、45年前の石油ストーブの写真を提示する。 ◆ 71年前の新潟市の家庭では、まだ石油ストーブがなかったという事実(歴史博物館の人の話：VTR)を提示する。 ※石油ストーブ(1955年/昭和30年～) ◆ 驚きや疑問からどのような学習問題がつけられそうか問う。 【働き掛け1】 ◆ 学習問題に対する予想を発表させ、問題解決の手掛かりとなる観点を樹形図で分類・整理して板書する。 【働き掛け2】 ◆ 火鉢(実物)を提示し、暖かさを体験させた後、学習問題についての考えを問う。 【働き掛け3】 ◆ どのようなことが分ければ仮説を確かめられそうか問う、必要な情報を集める方法を考えさせる。 【働き掛け4】 ◆ ゲストティーチャーに火鉢の使い方や工夫、効果や暮らしの様子を聞いて調べさせる。 【働き掛け5】 ◆ 学習のまとめとして、分かったことや考えたこと、思ったことを説明させる。 【働き掛け6】 	9 Q 3 時間
三 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昔の人たちも火鉢やこたつ、行火を使って、今と同じように暖かく過ごそうとしていたんだ。いろいろな道具で炭を大切に使用したり、危なくないように工夫したりして、昔の人の知恵や工夫はすごいな。 ○ 他の暖房器具について調べる。 ○ 暖房器具と暮らしの様子を絵年表にまとめる。 ○ 暖房器具と暮らしの変化について、絵年表を基に話し合う。 ○ 単元のまとめとして、分かったことや考えたこと、思ったことを説明する。 <p>○ 昔の人々の知恵や工夫があったから、今も同じように暖かく過ごすための道具があり、道具がよりよくなったから、私たちの生活が便利で暖かくなったんだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 湯たんぽ、灰式懐炉を提示する。 ◆ 昭和初期、40年代、現在の暖房器具と暮らしの様子を絵年表にまとめさせる。 ◆ 絵年表を見て、道具と暮らしの様子について気付いたことを問う。 ◆ 単元のまとめとして、分かったことや考えたこと、思ったことを説明させる。 	6 Q 2 時間

4 準備するもの及び留意点

- 新潟市の平均気温のデータ(2012/1968/1942年) ○現在の暖房器具 ○使い捨てカイロ/白金懐炉 ○電気ストーブ・こたつ/石油ストーブ ○昔の暖房器具(火鉢・懐炉・炬燵・行火・湯たんぽ) ※実物がない場合は写真 ○新潟市歴史博物館の方(ゲストティーチャー) ○見学：新潟市歴史博物館

5 内容の関連

